



西東京市には、東伏見に所在する、縄文時代中期（今から約 4～5 千年前）の環状集落「下野谷遺跡（したのやいせき）」があります。下野谷遺跡は、平成 27 年 3 月に国の史跡として指定されており、現在、遺跡の保存・活用及び整備の方針等を定める保存活用計画策定に向けた検討を行っています。

市の重要な地域資源として、市民との協働により遺跡の活用事業を展開し、貴重な文化遺産として、多くの方々から愛される史跡を目指しています。

◆世界最大級のプラネタリウムで星空解説とともに縄文時代にタイムスリップ！

【多摩六都科学館事業：実施中】

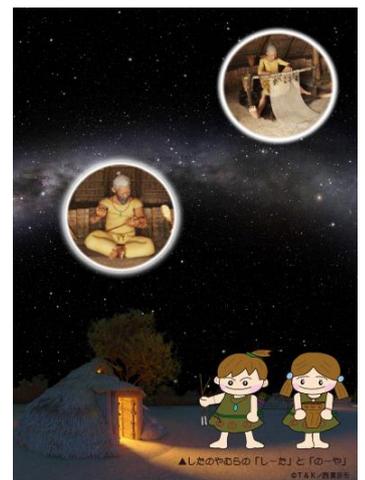
西東京市内にある多摩六都科学館では、全編 生解説プラネタリウム「5千年前にタイムスリップ！～縄文人が見た『したのやムラ』の星空～」を投影中です。

市では、市内事業者との下野谷遺跡普及・啓発の連携事業として、昨年度に市が制作したデジタルコンテンツ「VR 下野谷縄文ミュージアム」CG 映像をプラネタリウムドーム用コンテンツとして提供しています。

開催期間： 10月6日（金）～12月22日（金）

※投影時刻は多摩六都科学館ホームページ「イベント・スケジュール」からご確認ください。

多摩六都科学館 広報担当(TEL：042-469-6100)



【画像：多摩六都科学館提供】

◆下野谷遺跡国史跡指定記念シンポジウムで、最新の研究成果を学ぼう！

今年度も、下野谷遺跡の国史跡指定を記念したシンポジウムを開催します。

下野谷遺跡に代表される縄文時代中期の大規模拠点集落を支えたものとして、管理・栽培も含めた植物利用の拡大が指摘されています。近年、土器片等に残る圧痕（植物の種子等の痕）を調べることにより、縄文時代の植物利用に関する様々な知見が得られています。今回のシンポジウムでは、最新の研究成果を紹介しつつ、縄文時代の植物利用の実態に迫ります。

(1)日時：2月10日（土）午後1時～午後5時（予定）

(2)会場：保谷こもれびホール（西東京市中町一丁目5番1号）

<申込方法などの詳細については、市報1月1日号や市ホームページに掲載予定>

◆東伏見駅周辺への縄文モニュメント設置でまちを元気に！〈平成 30 年 3 月予定〉

「都心に最も近い縄文探訪エリア」である西武新宿線「東伏見駅」周辺について、下野谷遺跡を活用して地域の魅力向上や新たな賑わいの創出を図るため、東伏見駅周辺から下野谷遺跡までの間に下野谷遺跡を想起させるモニュメント等を設置します。

～モニュメントで縄文ワールドへの玄関口“東伏見”をアピール～

○遺跡のまち「東伏見」をPR

東伏見駅の駅前広場（北口と南口）に、シンボルとして下野谷遺跡から出土した縄文土器や下野谷遺跡キャラクター「したのやムラ」の「しーた」と「のーや」などのモニュメントを設置し、遺跡のまちとしてPRします。



○下野谷遺跡公園までの道のりを案内

東伏見駅から下野谷遺跡までの約 400mの間を、「したのやムラ」の「しーた」と「のーや」が、下野谷遺跡の価値と魅力を解説しながらご案内します。



©T&K/西東京市

【問い合わせ先】 社会教育課（TEL：042-438-4079）

資料のポイント

下野谷遺跡を“地域の宝”として保存・活用していくため、地域の皆様と共に、関連事業を実施しています。

- 市民との連携：市民協働により実施している下野谷遺跡の圧痕分析調査について、研究成果とともに、遺跡の活用の新たな可能性として紹介
- 地域商店街との連携：まちに統一的・一体的なイメージを与え、遺跡をPRするとともに、下野谷遺跡関連商品の開発・販売などに協力いただいている地域商店街との連携強化
- 市内事業者との連携：下野谷遺跡の価値と魅力をわかりやすく伝えるため制作した3DCG デジタル画像を、世界最大級のプラネタリウムで投影

「VR 下野谷縄文ゲート」からアクセス

※アプリダウンロード用サイトです。

